



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月10日

上場取引所 東

上場会社名 ハビックス株式会社  
 コード番号 3895 URL <https://www.havix.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 木村 敏之  
 (氏名) 伊神 清隆  
 配当支払開始予定日

TEL 058-296-3911  
 2019年6月26日

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	12,823	△0.3	684	△40.1	694	△39.7	474	△43.1
2018年3月期	12,867	2.5	1,143	△20.6	1,151	△21.0	833	△20.2

(注) 包括利益 2019年3月期 487百万円 (△41.2%) 2018年3月期 828百万円 (△21.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	60.83	—	6.1	4.8	5.3
2018年3月期	106.83	—	11.6	8.5	8.9

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,179	7,921	52.2	1,015.03
2018年3月期	13,734	7,551	55.0	967.58

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,921百万円 2018年3月期 7,551百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	730	△490	689	2,416
2018年3月期	1,432	△803	△631	1,486

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00	117	14.0	1.6
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00	124	26.3	1.6
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00		23.1	

(注) 2018年3月期配当金の内訳 普通配当10円00銭 特別配当5円00銭  
 2019年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭  
 2020年3月期配当金の内訳 普通配当16円00銭 第70期記念配当2円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,456	△1.5	431	1.5	424	△0.6	297	2.4	38.15
通期	13,151	2.6	884	29.2	869	25.2	609	28.3	78.06

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2019年3月期	8,175,280 株	2018年3月期	8,175,280 株
2019年3月期	370,601 株	2018年3月期	370,599 株
2019年3月期	7,804,680 株	2018年3月期	7,804,681 株

(参考) 個別業績の概要

2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	11,872	△0.8	555	△46.4	648	△41.3	468	△43.3
2018年3月期	11,963	2.0	1,036	△22.7	1,105	△22.6	825	△21.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	59.97	—
2018年3月期	105.78	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	15,011	7,888	52.5	1,010.69
2018年3月期	13,579	7,525	55.4	964.25

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,888百万円 2018年3月期 7,525百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. その他	12
役員の変動	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、外食産業市場は一時のインバウンド需要が落ち着いたものの堅調に推移しました。紙おむつ市場は、高齢化の進展により大人用紙おむつの生産が増加しましたが、輸出の減少によりベビー用紙おむつの生産が減少したことにより軟調に推移しました。また、主要原材料である輸入パルプの価格は引き続き高い水準で推移しました。

このような環境のなか、当社グループは既存製品の販売拡大と販売価格の修正、コスト削減に努めましたが、当連結会計年度の売上高は12,823百万円(前期比0.3%減)、営業利益は684百万円(同40.1%減)、経常利益は694百万円(同39.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は474百万円(同43.1%減)となりました。

#### a. 不織布関連事業

パルプ不織布は、おしぼり向け製品の販売が増加しましたが、ドリップ吸収シート向け製品の販売が減少し、また、クッキングペーパーの販売が一部販売先での在庫調整等の影響で減少したことにより、売上高、利益ともに減少しました。化合繊不織布は、コスメ向け製品の販売を開始しましたが、一部販売先への紙おむつ向け製品の販売が減少したことにより売上高、利益ともに減少しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は7,336百万円(前期比3.2%減)、セグメント利益は1,181百万円(同13.7%減)となりました。

#### b. 紙関連事業

衛生用紙は、輸入パルプ価格の上昇を受け価格修正を進めたことにより売上高は増加しました。しかし、原料燃料価格の上昇分を十分に補えなかったことにより利益は減少しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は5,487百万円(前期比3.8%増)、セグメント利益は305百万円(同53.2%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### a. 資産

総資産は、前連結会計年度末と比べ1,445百万円増加して15,179百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が1,220百万円、現金及び預金が622百万円増加したこと、機械装置及び運搬具が458百万円減少したことによるものであります。

#### b. 負債

負債は、前連結会計年度末と比べ1,074百万円増加して7,257百万円となりました。これは主に、長期借入金が673百万円、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が626百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が356百万円減少したことによるものであります。

#### c. 純資産

純資産は、前連結会計年度末と比べ370百万円増加して7,921百万円となりました。これは主に、利益剰余金が357百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は52.2%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末より929百万円増加して2,416百万円となりました。

#### a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により獲得した資金は730百万円(前期比701百万円減)となりました。これは、税金等調整前当期純利益694百万円、減価償却費705百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少356百万円、たな卸資産の増加249百万円等による資金の減少によるものであります。

#### b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は490百万円(前期比312百万円減)となりました。これは、定期預金の預入による支出1,041百万円、定期預金の払戻による収入1,348百万円、有形固定資産の取得による支出803百万円等によるものであります。

#### c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により獲得した資金は689百万円(前期は631百万円の使用)となりました。これは、長期借入金の

借入による収入1,300百万円等による資金の増加と、長期借入金の返済による支出485百万円、配当金の支払117百万円等による資金の減少によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率	45.0%	49.3%	51.5%	55.0%	52.2%
時価ベースの自己資本比率	26.9%	33.7%	79.5%	57.4%	37.6%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	3.6年	4.8年	1.6年	1.7年	4.4年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	44.2倍	23.1倍	79.9倍	75.9倍	32.7倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

※株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

※キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しています。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としています。

#### (4) 今後の見通し

輸入パルプ価格はピーク時から下落し前期を下回るものの、過去の実績と比べて高い水準で推移すると予想されます。

このような環境のなか、既存製品の販売拡大に加えて新たな製品の開発に向けた活動を積極的に推進するとともに、さらなる生産効率の改善に取り組み収益の確保に努めることで、2020年3月期の連結業績見通しとしては、売上高は13,151百万円（前期比2.6%増）、営業利益は884百万円（同29.2%増）、経常利益は869百万円（同25.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は609百万円（同28.3%増）を見込んでおります。

なお、為替レートにつきましては、1米ドル=112円を想定しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準を適用することとしております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、検討を進めてまいります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,829,361	3,452,236
受取手形及び売掛金	3,103,772	2,686,558
電子記録債権	1,552,898	1,757,246
商品及び製品	306,347	410,347
仕掛品	12,965	10,350
原材料及び貯蔵品	595,424	743,560
その他	40,748	42,591
貸倒引当金	△3,450	△3,450
流動資産合計	8,438,067	9,099,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,968,369	4,049,324
減価償却累計額	△2,127,504	△2,213,933
建物及び構築物（純額）	1,840,864	1,835,390
機械装置及び運搬具	7,586,141	7,613,012
減価償却累計額	△5,825,927	△6,311,477
機械装置及び運搬具（純額）	1,760,214	1,301,535
土地	1,074,095	1,175,984
建設仮勘定	11,107	1,232,077
その他	392,087	384,772
減価償却累計額	△297,878	△323,977
その他（純額）	94,209	60,795
有形固定資産合計	4,780,491	5,605,783
無形固定資産	216,970	167,970
投資その他の資産		
投資有価証券	218,977	235,290
繰延税金資産	50,266	50,822
その他	71,435	61,970
貸倒引当金	△41,390	△41,440
投資その他の資産合計	299,288	306,642
固定資産合計	5,296,750	6,080,397
資産合計	13,734,817	15,179,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914,121	2,557,208
1年内返済予定の長期借入金	485,882	626,176
未払金	268,130	295,990
未払法人税等	101,606	72,382
賞与引当金	145,372	133,667
役員賞与引当金	30,000	24,000
その他	140,550	767,275
流動負債合計	4,085,663	4,476,701
固定負債		
長期借入金	1,922,637	2,596,461
退職給付に係る負債	141,468	151,262
その他	33,401	33,463
固定負債合計	2,097,507	2,781,186
負債合計	6,183,171	7,257,888
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	603,260	603,260
利益剰余金	6,356,893	6,714,580
自己株式	△69,717	△69,719
株主資本合計	7,484,096	7,841,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,691	66,200
為替換算調整勘定	12,858	13,967
その他の包括利益累計額合計	67,550	80,168
純資産合計	7,551,646	7,921,949
負債純資産合計	13,734,817	15,179,837

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	12,867,859	12,823,170
売上原価	9,987,363	10,496,199
売上総利益	2,880,495	2,326,971
販売費及び一般管理費	1,736,702	1,642,338
営業利益	1,143,793	684,632
営業外収益		
受取利息	1,217	793
受取配当金	4,481	4,557
為替差益	2,937	4,456
故紙売却収入	6,855	6,070
受取保険金	1,029	2,925
その他	11,662	9,911
営業外収益合計	28,184	28,714
営業外費用		
支払利息	18,516	17,225
その他	1,707	1,554
営業外費用合計	20,224	18,780
経常利益	1,151,753	694,567
税金等調整前当期純利益	1,151,753	694,567
法人税、住民税及び事業税	313,992	225,281
法人税等調整額	3,980	△5,470
法人税等合計	317,973	219,810
当期純利益	833,779	474,756
親会社株主に帰属する当期純利益	833,779	474,756

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	833,779	474,756
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△261	11,509
為替換算調整勘定	△4,996	1,109
その他の包括利益合計	△5,258	12,618
包括利益	828,521	487,375
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	828,521	487,375
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	593,660	603,260	5,663,598	△69,717	6,790,800	54,953	17,854	72,808	6,863,608
当期変動額									
剰余金の配当			△140,484		△140,484				△140,484
親会社株主に帰属する当期純利益			833,779		833,779				833,779
自己株式の取得				—	—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△261	△4,996	△5,258	△5,258
当期変動額合計	—	—	693,295	—	693,295	△261	△4,996	△5,258	688,037
当期末残高	593,660	603,260	6,356,893	△69,717	7,484,096	54,691	12,858	67,550	7,551,646

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	593,660	603,260	6,356,893	△69,717	7,484,096	54,691	12,858	67,550	7,551,646
当期変動額									
剰余金の配当			△117,070		△117,070				△117,070
親会社株主に帰属する当期純利益			474,756		474,756				474,756
自己株式の取得				△1	△1				△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						11,509	1,109	12,618	12,618
当期変動額合計	—	—	357,686	△1	357,684	11,509	1,109	12,618	370,303
当期末残高	593,660	603,260	6,714,580	△69,719	7,841,780	66,200	13,967	80,168	7,921,949

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,151,753	694,567
減価償却費	697,464	705,723
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△135	50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,868	△11,705
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,000	△6,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△3,125	9,793
受取利息及び受取配当金	△5,698	△5,350
支払利息	18,516	17,225
売上債権の増減額 (△は増加)	△185,495	212,654
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△216,150	△249,536
仕入債務の増減額 (△は減少)	893,875	△356,819
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△1,146	1,146
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△203,599	1,572
長期未払金の増減額 (△は減少)	△157,747	-
その他	9,010	△14,537
小計	1,999,390	998,784
利息及び配当金の受取額	5,192	5,847
利息の支払額	△18,863	△22,314
法人税等の支払額	△553,296	△251,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,432,422	730,687
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,455,096	△1,041,933
定期預金の払戻による収入	948,334	1,348,544
有形固定資産の取得による支出	△128,388	△803,746
無形固定資産の取得による支出	△136,003	△3,790
投資有価証券の取得による支出	△32,223	-
その他	100	10,091
投資活動によるキャッシュ・フロー	△803,276	△490,833
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△482,548	△485,882
自己株式の取得による支出	-	△1
配当金の支払額	△140,898	△117,053
その他	△7,736	△7,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	△631,183	689,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	172	△140
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,865	929,487
現金及び現金同等物の期首残高	1,488,860	1,486,994
現金及び現金同等物の期末残高	1,486,994	2,416,482

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社および子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に不織布および紙の製造、販売に関する事業を営んでおり、取り扱う製品ごとに事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社は、「不織布関連事業」および「紙関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

「不織布関連事業」は、パルプ不織布原反・加工品、化合織不織布の製造販売およびその他不織布の販売を、「紙関連事業」は、衛生用紙の製造販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	不織布関連事業	紙関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,580,093	5,287,765	12,867,859	—	12,867,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,580,093	5,287,765	12,867,859	—	12,867,859
セグメント利益	1,369,029	653,580	2,022,609	△878,815	1,143,793
セグメント資産	3,658,566	1,897,571	5,556,137	8,178,680	13,734,817
その他の項目					
減価償却費	450,928	198,364	649,292	48,171	697,464
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	68,384	54,685	123,069	57,113	180,182

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△878,815千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント資産の調整額8,178,680千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- 減価償却費の調整額48,171千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額57,113千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	連結財務諸表 計上額 (注2)
	不織布関連事業	紙関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,336,038	5,487,132	12,823,170	—	12,823,170
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,336,038	5,487,132	12,823,170	—	12,823,170
セグメント利益	1,181,784	305,924	1,487,708	△803,075	684,632
セグメント資産	3,287,653	3,340,547	6,628,201	8,551,636	15,179,837
その他の項目					
減価償却費	444,751	210,591	655,343	50,380	705,723
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	32,306	1,438,055	1,470,362	4,500	1,474,862

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- セグメント利益の調整額△803,075千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- セグメント資産の調整額8,551,636千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

- (3) 減価償却費の調整額50,380千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額4,500千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	967.58円	1,015.03円
1株当たり当期純利益金額	106.83円	60.83円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	7,551,646	7,921,949
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	7,551,646	7,921,949
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	7,804,681	7,804,679

3 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	833,779	474,756
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	833,779	474,756
普通株式の期中平均株式数(株)	7,804,681	7,804,680

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## 役員の変動

本日開示いたしました、「代表取締役の変動および監査等委員会設置会社移行後の役員人事に関するお知らせ」をご覧ください。